

一定の病気等に起因する交通事故への対応について

発作・急病に起因する交通死亡事故発生状況

	平成21年	平成22年	平成23年	3年平均
てんかん	5件	2件	5件	4件
心臓マヒ	2件	1件	2件	1.7件
脳血管障害	3件	0件	2件	1.7件
その他	7件	6件	10件	7.7件
合計	17件	9件	19件	15件
死亡事故全体	4,773件	4,726件	4,481件	4,660件

一定の病気等に起因する重大事故

・栃木県鹿沼市における児童6名死亡の交通事故

平成23年4月18日、栃木県鹿沼市内の国道上において、クレーン車の運転者が発作により意識を喪失し、登校中の児童の列に突入して、小学生6名が死亡したものの。

有識者検討会の開催

平成24年6月以降、自動車等の安全な運転に支障を及ぼすおそれのある一定の病気等に係る運転免許制度の在り方について、有識者により構成される検討会（座長：藤原静雄中央大学法科大学院教授）を開催。

(1) 主な検討課題

- ア 自動車等の安全な運転に支障を及ぼすおそれのある一定の症状を有する者を的確に把握するための方策
- イ 症状の申告を行いやすい環境の整備方策

被害者御遺族からの要望

- てんかん不申告による不正取得を確実に防ぐ
運転免許交付制度の構築

※ 要望書の提出と併せて、

平成24年4月9日に約17万名分

平成24年8月22日に約3万名分

の国家公安委員会委員長宛の署名の提出

(2) 今後のスケジュール

検討会の議論の結果を踏まえた提言をとりまとめたいただき、警察庁において更に具体的な検討を進める予定。